

日 時	令和6年3月4日（月）9：30～11：15	場 所	四万十市役所 3階 防災対策室
内 容	令和5年度 第5回 旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会		
次 第	1 開会 2 日程説明 3 報告事項 (1) 旧下田中学校校舎の避難所利用について (2) その他 4 検討事項 (1) 有効活用案の検証について (2) その他 5 その他 6 閉会		
出席者	岡村会長、阪本副会長、宮村委員、尾崎委員、宮崎委員、佐田委員、三浦委員、山本委員、片岡委員、久保委員、前田委員、有原委員、須山委員、山下委員		
事務局	副市長、武田企画広報課長、田邊室長、永野主幹		
会 議 の 概 要 と 結 果			
有原委員	1 開会 委員 15 名中 14 名が出席し会議を開会。 2 日程の説明 会次第に沿って日程を説明。 3 報告事項 (1)旧下田中学校校舎の避難所利用について 標題の件については、継続して地元協議を行っている。前回報告後の進捗は下記のとおり。 ・校舎内の危険箇所への安全措置（実施済） ・床用畳の購入（近日中に納入予定） ※図面については【資料①】を参照。 (2)その他 2月19日に下田の子どもたちが市長及び教育長と面談を行った。その中で子どもたちの応援として参加した教育行政学の専門家である和光大学の山本由美教授より、教育方針に関する全国的な流れや休校中の学校の取り扱いについてのレクチャーがあった。それらを踏まえ、4種類の請願・陳情を市に提出した。その内容についても検討会にて周知したい。 1. 下田の子どもの意見の反映についての要望（市長、教育長、教育委員宛） 2. 休校後の下田中学校施設を不登校生徒などに対応した「居場所」とすることを望む請願（市議会議長宛） 3. 子ども意見表明に対する対応改善の陳情（市議会議長宛）		

	<p>4. 下田中学校に子どもの居場所づくりをすすめる事に関する陳情（市議会議長宛）</p> <p>市に対して、高台移転に関してはとにかく早期実現をお願いしたい。また、国が定めた「こども基本法に基づくこども施策の策定等へのこどもの意見の反映について」の規定に沿った説明責任の実行を要望する。加えて、下田小学校3階にある中学校について、休校となった場合には市町村に維持管理の義務があるため、地元としては引き続き行政に対して要望していきたい。</p> <p>4 検討事項</p> <p>(1)有効活用案の検証について</p> <p>第4回検討会で選出された4案について、市関係各課より施設整備にあたってのイメージや課題等について協議を行い、下記資料を作成。</p> <p>【資料②-1】……検証結果をプロジェクトチーム（以下「PT」という。）においてまとめたもの。</p> <p>【資料②-2】……施設ごとに課題等を事案にして整理したもの。</p> <p>【資料②-3】……施設整備にあたっての設置区分をイメージ化したもの。</p> <p>資料に沿って事務局より説明を行った。</p>
片岡委員	<p>完成後には旧下田中学校の1～2階は教室となるが、床はフローリング等で作り、緊急時には教室へ畳やベッドを入れて避難所にするのか。</p>
事務局	<p>畳は現状のコンクリート床に対応するためのものであり、整備が完了した後も畳を敷くかは別途検討の必要がある。畳を敷く選択肢も想定は出来る。</p>
宮崎委員	<p>小中学校や保育所の合築について調べたが、先進事例は多く見受けられる。そのため、事務局が「合築により現状と同じ水準を確保するのは困難」と指摘した部分についても、先進事例では既に解決されているのではないだろうか。十分に参考にし、早急に高台移転をしていただきたい。</p> <p>また、災害時の指定避難所としての機能を鑑み、調理スペースを確保するような設計をお願いしたい。</p>
事務局	<p>事例について数ヶ所把握しているが、同じ学校の施設であっても建物が別となっていた。今回利活用する旧下田中学校校舎の構造に応じた調整事項とご理解いただきたい。</p> <p>「合築により現状と同じ水準を確保するのは困難」とは別の建物で保育所と小学校を運営している現状と合築した場合を比較したものである。また、「関係者の理解が必要」とは、保護者と学校側の事前の理解と新たに生まれる調整事項に対し互いに協力しての運営が必要であるとの意図である。</p> <p>災害用の調理室に関しては、施設整備後にどのように活用していくか検討していきたい。</p>
宮崎委員	<p>建物が別かまでは把握していなかったものの、同じ敷地内であればチャイムにせよ類似の事象が起きていると思う。先進事例への状況の確認等で調整が見つかるのではないかと。</p>

	<p>施設整備が終わった段階で災害時の利活用について話すことは、取り組みが二度手間になる可能性もある。地元としては切り離して行うことを考えていない。</p>
事務局	<p>災害時に調理場として使うことは可能である。整備時には、有事の際にどうするかとの視点を取り入れるが、それはあくまで保育所の整備の中でというところをご理解いただきたい。</p>
有原委員	<p>旧下田中学校校舎は、長期避難所として活用しやすいスペース割が非常に大事だと思う。高齢者の方が高台に上がって過ごす時間が長ければ、それだけで安全面を確保出来る。災害時には保育所の調理スペースが使えるという話もあったが、もう少し拡充し、地元の方が常に集える場所としてスペースを確保しても良いのではないか。旧中医学研究所の2階にフレイル予防センターを考えているが、旧下田中学校校舎の部分に設けることはできないのか。</p> <p>現状で小学校と中学校が同居する中でもチャイム等の課題はあった。保育所と小学校は、時間的な差異だけでなく、保育所の昼寝の時間に小学生を静かにさせるのは難しいのではと思う。事務局よりスペース割の案が出ているが、保育所建設は財源的にもかなり補助があると思うので、新たに建てる案も検討して欲しい。</p> <p>体育館について、小学校と保育所で利用するという事だが、体育館内の会議室には元々学童が存在していた。保護者達は地元を通じて学童を元の場所に戻して欲しいとの要望も出している。現在はハマッコ教室という形になっているが、元の体育館の会議室に戻していただきたい。</p>
事務局	<p>部屋割りについて、優先すべきは保小の適切な施設整備及び面積確保となる。コミュニティスペースはその後余裕があれば整備について考えるものになる。【資料①】については新しい整備の実施計画による整備が始まるまでの暫定的なものである。新たな整備の実施計画が入り部屋割りが決まった段階で、災害時にどのような部屋割りに使うかは決まってくる。</p> <p>保育所を個別に整備することは、現段階で事務局では考えていない。</p> <p>学童に関しては新たに小学校を高台移転となった場合にどうするか検討することになる。</p>
岡村会長	<p>高齢の方々と触れ合えるコミュニティスペースに関しては、物理的に難しくとも、プログラムとして行える可能性もある。有原委員の意見を施設の有効活用という面だけでなく、ソフト整備の面でもぜひ今後検討いただければ。</p> <p>新築の保育所については、一緒の建物に入ることによりどの程度の影響が出るかについて具体的に分かなければ、委員各位もコメントに困るところがある。具体的な検討が進んでいくとともに、具体的な意見を行えるようになるのではないかと。</p>
宮村委員	<p>保育所は高台移転をすべきだが、有効活用の検討とは別に協議を進めるべきではないか。保育所に関しては小学校と一緒にすることは難しいと思っている。今回有効活用すべき施設を使わず、別に施設を作らなければならないのではないかと。別枠で考え、この検討会では話す必要がない問題だと思っている。</p>

岡村会長	<p>【資料②-1】(1)の①と④について違いが分からない。④は①を内包したものか。それとも、チャイムや昼寝以外でも具体的に何か課題があるのか。</p>
事務局	<p>①は主に放送設備対応のハード面について、④は小学校の生活リズムのソフト面について示したもの。</p> <p>④に関して、小学校の生活リズムは基本的には午前中が静かな授業を行い、昼から運動となる。保育所は、午前中が活発な運動、昼からは静かな昼寝の時間で、小学校とは全く逆のリズムになる。生活リズムが違うものが同じ建物にあることで配慮が必要となる。</p>
岡村会長	<p>有原委員のご意見でもあったように、調整する必要がある場面は、具体的に浮かばなくともある程度存在することは想像しうる。同じ建物にあることで、皆が何かを調整する必要があることが分かった。</p>
久保委員	<p>産前産後ケアセンターは必要だと思うが、ニーズに合うかについて不安がある。四万十市の子ども数は激減しており、そのような現実の中で、多くの予算と場所を使い良いものが出来たとしても結果が伴うか心配している。</p> <p>それならば、今後活用できる余剰スペースを確保しておき、子育てに関するニーズの研究を行いながら進めることも必要ではないかと思う。</p> <p>また、前回の検討会で意見として出した「カフェや食事のできる場所」のように、下田へ目的を持って行けるような場所があればよいのではないか。</p> <p>その他、景色を見ながらドライブし、フレイル予防の施設に立ち寄るなど、そういうルート作りをすれば、利用者のニーズも生まれてくるのではないか。</p>
宮村委員	<p>検討会では、具体的にこれをやりましょう、ではなく子育てのため地域のための施設にするという大枠でまとめ整理するのはどうか。</p> <p>その後については、市において地域と相談しながら決めていくので良いのではないか。</p>
前田委員	<p>セントラルキッチンについて、保育所と小学校の合築のため空きスペースがなくなり整備出来ないのか。保育所を合築しなかった場合、セントラルキッチンのための空きスペースは出来ないのか。</p>
事務局	<p>セントラルキッチンは保小の高台移転を優先しスペースが空いた場合という条件付きのものだったため、今回は外している。保育所を合築しなかった場合には1階スペースが空くこととなるが、小学校の整備は2～3階よりも1～2階が望ましいため、そうすると3階に民間企業等が入ることは想定しづらい。</p>
前田委員	<p>久保委員もおっしゃられたが、10年前に自分が保護者であった時期と比較すれば、驚くほどに子どもがいなくなっている。これから先に人口の増加も見込めない状況、下田小学校と保育所の存続も危ぶまれている現状を考えれば、市や地域に余力が無いなかで</p>

	<p>無理をして高台移転をするのではなく、企業等を誘致し地域を活性化していくのが今後の下田の将来にとって望ましいと考えている。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>少子高齢化により児童生徒が少なくなることは間違いないものの、年始に能登半島沖地震もあり、いつ災害が来るか分からないなかで、人の命が大事という観点から、10～20年先にどうなるかという議論はさておき下田小学校と保育所の高台移転を考えている。</p> <p>旧下田中学校校舎の利用において、保育所がなくなれば当然小学校が1階に降りてくる。そのことを踏まえればセントラルキッチンはありませんと思う。</p> <p>宮村委員は保育所を切り離してとおっしゃっていたが、そうではなく、いかに早く保育所と小学校を高台へ上げるかである。保育所と小学校の合築において、色々な調整すべき条件もあると思うが、お互いが譲歩し合い、旧下田中学校で存続させることが重要と思う。</p> <p>検討会で保小の高台移転という前提条件を変えれば話が全然違ってくる。それについて曲げていただくと私は困ります。</p>
<p>宮村委員</p>	<p>保育所は高台移転をしなければならない施設であるが、それを今回の利活用に併せて高台移転するより、ゼロからのスタートで近くの高台に保育所用地を確保し、新しい施設として作った方が早いのではないかと考えている。</p> <p>また、保育所に関しては交付税を用いれば金銭的に市の支出を随分抑えられる。</p>
<p>事務局</p>	<p>検討会は遊休施設をどう使うかとの議論のなかで、それぞれの委員から意見をいただいている。一部委員より保育所について別の場所で高台移転をとのご意見をいただいたが、いずれにせよ検討会としての保育所及び小学校の高台移転という大きな方向性は委員内で共通していると考えている。</p> <p>具体的にどう整備していくかの議論については、市も来年度から整備の方向性を詰め、その中で保育所と小学校が同じ建物の中にあることによる課題も見え、その課題は解決できるのかどうか、解決のためには別々の施設でやった方が良いのか、また財源について総合的にどの程度で、どのようなスピード感を持って事業をやっていいのかを考えていく。本日のところはご意見について持ち帰り、具体的な部分はこれからの議論とさせていただきたい。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>委員の意見の取りまとめに移りたい。旧中医学研究所に関しては、宮村委員や久保委員からご意見があったように、子育てに関するところとしたい。検討会としては、旧中医学研究所でフレイル予防を行うことで高齢の方と若者たちの交流が生まれるのではないかと期待した面もあるが、良い面だけでなく詳細な調整が必要となる。検討会という広く検討を行うチームとしては、主旨を子育てとして、具体的な部分に関してはそれぞれの専門的な部署へお任せした方が適正ではないかと思う。</p> <p>また、旧下田中学校の利活用について、検討会として子どもの安全を最優先とすることに皆さま異議はないと思っている。ではそれをどういう手段で実現するのかというところで以下のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所と小学校の両方を早く移転することが大事なため両方とも移動させる

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所が同じ施設に入ると様々な調整事項が出てくるため保育所は別とする ・ 今後必要となる地域活性化を考えた、民間施設との共存 <p>検討会としては子どもの安全をしっかりと確保していく。その手段としては、旧下田中学校の校舎に保育所と小学校が入るものとしたい。保育所の新設については、重要ではあるものの検討するための道筋が整っていない。一緒に入ることによって様々な調整事項が考えられるが、まずは一緒にやっていくことを基本に進めたい。</p>
宮崎委員	異議なし。
有原委員	<p>同居案を推し進めるのではなく、早急に叶うのであれば保育所の新設という形も考えてよいのではないか。平野には広い敷地や、県有地の解除が進んでいる場所もあるため、新たに保育所を作る方が早いのであれば、ぜひ新設も検討していただきたい。</p> <p>また、民間施設について、第4回検討会で片岡委員もおっしゃっていたが、個人的にも下田の高台にセントラルキッチンがある必要性について疑問がある。セントラルキッチンは市のより中心地に作ることや、移転後の保育所と小学校でも作ることが出来る。ご検討願いたい。</p>
岡村会長	<p>高台移転について早急に行える手段を選んでいただきたいというご意見と捉えた。</p> <p>セントラルキッチンについては、今回の有効活用の中では残念ながら実現は難しいが、引き続き市や地域と協議していただき良い形になればと考えている。</p>
片岡委員	<p>旧下田中学校校舎については保育所と小学校の合築、旧中医学についてはコミュニティと子育て支援の二つを柱として進めていけばと思う。</p> <p>保育所の新築については、その後考えればよいのではないか。</p> <p>とにかく、コミュニティと子育て支援と移転、それらをなるべく早くできるよう検討願いたいと思う。</p>
尾崎委員	<p>高台移転が最重要課題であり早急に行って欲しい。</p> <p>保育所と小学校の同居について、当然トラブルが起こることは考えられる。トラブルに対応し、同居が困難となれば別に建てることを考えてもよいのではないか。</p> <p>土地さえあれば保育所を簡単に建てられるのであれば、平野に良い土地がある。市の予算のこともあるためこの場で決断をするわけにはいかないと思うが、用地買収をすれば土地を確保出来るのではと思う。</p>
山本委員	<p>旧中医学研究所に保育所を整備することの課題で、送迎のことが書かれている。駐車場の関係があるにせよ、うまく確保すれば保育所は旧中医学研究所に入り、旧下田中学校校舎へ小学校を入れる。確かに課題として、保護者の送迎、駐車場困難、子どもの遊ぶ園庭等あるが、それらは協議して考えられないだろうか。</p> <p>また、旧中医学研究所の余った空間で子育てスペースも可能ではないかと他委員の意見を聞きながら思った。</p>
佐田委員	お金さえあれば中学校、小学校、保育所について新たな場所へ建てればよいが、市に

	<p>も予算がある。予算的にも見合い、今後検討できるのであれば新設という形を取れば良いのではないか。</p> <p>検討会ではひとまず、保育所と小学校を高台へ移転しましょうという意見と、もう一方の旧中医学研究所はフレイル予防センター等とする考えを挙げたい。</p> <p>検討会で施設整備を最後まで作り上げるのであれば詰めた部分まで話す必要があるが、そこまでは荷が重いところもある。検討会としての方向性を出し、市が色々なご意見を参考にしながら今後検討を重ねていけばよいと考えている。</p> <p>いずれにせよ、旧中医学研究所については多くのものを詰め込むと初期投資も必要になるため、ある程度ゆとりを持たせて今後のことも考えながら進めるようにしていただきたいと個人的には思う。</p>
山下委員	<p>佐田委員も言われたように、この検討会で出せる方向性というのは、第4回検討会で出したものが基本になると思う。検討事項としてPTで話し合った内容を伝えていただいたが、専門的な部分もあり、示された課題がどれだけ重大であるか委員には分からない部分もある。より具体的話をするにはかなりの量の課題やメリットデメリットをまとめていく必要があるため、検討会としては前回ベースの方向性の示し方しかできないのではないか。</p> <p>基本的には高台移転を優先しつつ、行政として進めて行くにあたり費用対効果等を考えなければならないと思うため、企業の誘致など他の部分についてはプラスアルファの要素として盛り込んで進めていただきたい。</p> <p>保育所をどうするかについては、費用対効果やメリットデメリットの検討を踏まえ地元の方々との合意形成を図っていくことになると思う。</p>
須山委員	<p>自分の子どもたちが通っていた大宮保育所では、小学校と保育所が隣同士の敷地にあった。過去には運動会も共同で開催していたが、子どもの減少により今は保育所も小学校も無くなり、空いた保育所をどう活用していくかと考えるなかで、葬儀会場にするのはどうかとの話も出ている。</p> <p>自分が子育てをした経験を踏まえれば、小学校と保育所を同じ建物と言うのは難しいのではないかと思う。仮に小学生が走って保育所の子どもとぶつかった時に、怪我をすれば両者が嫌な思いをすることになる。</p>
三浦委員	<p>有効活用では保育所と小学校の高台移転以外も考えられる。子どもの命が大事というのは当然だが、何十年かに1回の災害に備えるためだけではなく地域に雇用が生まれるような使い方もあるということは、委員として来た以上、お叱りを受けるかもしれないが敢えて言わせていただく。</p> <p>地域に雇用が生まれ、人が来ることによって下田保育所の児童数が増え、それにより高台にしっかりとした保育所を作る等の動きも出てくるのではないか。</p>
阪本副会長	<p>検討会では、全ての事柄において皆さまの守りたいという気持ちを強く感じている。</p> <p>災害に遭った時に命を守りたい、今後の子どもの成長を守りたい、フレイル予防で高齢の方々を守りたい、セントラルキッチンを置き下田地域を守りたいというもの。その他にも米粉や苺等の意見が出てきており、それら有効活用案として出された意見は</p>

